

学校法人昭徳学園
令和 7 年度 事業計画



学校法人 昭徳学園
九州動物学院

令和 7 年 3 月

I はじめに

本学院の教育は生命の尊厳を第一とし、動物の保健・医療・福祉に関する専門知識および技術の修得を目標に掲げています。

教育水準の向上や活性化に努めるとともに、その社会的な責任を果たし、与えられた使命を達成するために、自らの責任において教育研究活動や管理運営等について自己点検評価、学校関係者評価等をととして高位平準化に努めてきたところです。

このような中、令和元年6月に「愛玩動物看護師法」が成立し、動物看護学科は令和4年より同法の施行に伴い、本学院愛玩動物看護師の養成を目的に3年制とし、令和4年4月1日に本学院は国家試験受験可能となる養成所と指定されました。

今年度は昨年訪問したウダヤナ大学を再訪し海外研修をより実りのあるものとし、実施しました。また学院体制の充実等様々な課題について取り組みましたのでご報告いたします。

学生の修学支援体制も文科省、厚労省の支援施策を活用し充実してきています。

II 基本的運営方針

〈 基 本 理 念 〉

生命を尊重し、動物と人間社会に真の絆を築き、
動物の保健・医療・福祉・愛護および適正飼養の分野に貢献できる人材の育成

〈 教 育 目 標 〉

- 1 命の尊厳を基盤に、動物の権利を尊重し、かつ豊かな人間性を養う。
- 2 動物の保健・医療・福祉・愛護および適正飼養にかかわる専門職としての知識、技術および態度を養う。
- 3 広い視野に立ち、生涯を通じ課題探求と問題解決力を養う。

〈 院 訓 〉

敬 天 尊 命

III 本年度の重点目標や計画等

- 1 令和6年度、動物看護学科は3年次を履修し修了し卒業、本年度は第2期の3年生となる
- 2 動物看護学科は、全面的に広報活動にて学生募集活動画その他で広く周知する。
- 3 併せて文科省「職業教育実践専門課程」認定校、「高等教育修学支援制度」確認校、さらには文科省職業実践専門課程認定校を対象とした厚労省「教育訓練給付制度」も認定され活用する。
- 4 また、文部科学省、厚生労働省等による教育環境の充実のための補助制度を利用し、パソコン40台を購入。
- 5 教育目標の特色化
本学院は、2024年11月15日MOUを締結したインドネシアバリ州国立ウダヤナ大学獣医学部と初の学生交流活動を実施した。今後とも同大学と狂犬病対策等をととして、他校にはない本学院の独自の教育プログラムを積極的に打ち出す。
ウクライナからの避難者レナさんが既定の入試に合格し、九動入学する。今後は学生生活が充実するようにあらゆる面からのサポートを実施。
- 6 校外合宿研修、海外研修の充実
更なるチームビルディング力育成のため、1年次に阿蘇合宿研修、2年次には昨年度に引き続きウダヤナ大学との交流を主に海外研修を実施予定。

- 7 学校運営の点検・評価・再構築
自己点検評価、学校関係者評価制度の結果に基づき、学校運営の向上を図る。
- 7 基本理念、教育目標の実効性の担保
令和3年度策定した「卒業認定・学位授与」（ディプロマポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラムポリシー）及び「入学者受け入れの方針」（アドミッションポリシー）について具体的な教育活動を実施展開する。
- 8 学生募集の強化
安定した学生数の確保が可能となるよう組織と広報手法の改善、強化を図る。

IV 学院運営体制

(1) 令和7年4月1日施行の私立学校法改正に伴い、昭徳学園新寄附行為施行

(2) 学校法人昭徳学園役員

2025年度5月に開催予定の第1回理事会・評議員会で新評議員を決定

理事	氏 名	評議員	氏 名
理事長	徳田 昭彦	評議員	森下 久男
理事	牛島 浩	評議員	大川 恵子
理事	藤好 建史	評議員	白石 史絵
理事	須崎 晋一	評議員	吉川 文香
理事	本田 公三	評議員	前田 しのぶ
監事	本山 桂子	評議員	未定
監事	中原 孝	評議員	未定

(2) 専任教員・職員・講師一覧

1. 専任教員

氏 名	職 務	担 当 科 目
徳田 昭彦	学院長	講話、動物外科看護学実習Ⅰ
本田 公三	副学院長	生命倫理・動物福祉
高木 和弘	教頭	3年副担任、掃除学、販売学、プレゼンテーションスキル
大杉 剛生	主幹（学術担当）	動物形態機能学、比較動物学、動物繁殖学、動物感染症学、動物看護関連法規、動物愛護・適正飼養関連法規、動物の疼痛と福祉、公衆衛生学
津田 圭子	主幹（教務担当）	動物栄養学、愛玩動物学、統合演習
工藤 正則	主幹（学生担当）	1年副担任
森元 和昭	主幹（危機管理担当）	
林 小百合	主幹（総務担当）	
西島 信彦	学生課長	就職支援、ライセンス対策、統合演習
林 典子	事務長	
井上 竜一	教務課長	1年担任、愛玩動物飼養管理学、人と動物の関係学、動物介在活動、動物生活環境学、動物愛護適正飼養実習、飼育実習
紫垣 知江	学生課主任	就職支援
橋本 沙耶	教務課主事	2年副担任トリミング実習、動物愛護適正飼養実習、飼育実習
高橋 理美	事務局主事	
後藤 翔太	教務課主事	3年担任、愛玩動物飼養管理学、動物愛護適正飼養実習、飼育実習
乗本 莉奈	教務課	2年担任、飼育実習

2. 講 師

氏 名	担 当 科 目
-----	---------

池上 美紀	動物看護学概論、動物内科看護学、動物臨床看護学総論、動物臨床検査学、グリーフケア概論、統合演習
井手 浩信	動物理学療法学、動物看護総合実習、動物臨床看護学実習
大川 恵子	動物看護総合実習
大塚 敦子	動物行動学、愛玩動物学、動物理学療法学、動物理学療法学実習
小山 房子	パソコン
北島 眞実子	動物形態機能学、動物皮膚病学、動物形態機能学実習
黒田 将仁	動物外科看護学、動物外科看護学実習
合志 潤子	動物看護総合実習、動物臨床看護学実習
島本 真由美	動物愛護・適正飼養関連法規、統合演習
白石 史絵	動物看護総合実習、動物臨床看護学実習
高木 奈穂美	動物医療コミュニケーション
田嶋 義高	分子遺伝学入門
樽田 侑	動物臨床看護学各論
長倉 絵里花	トリミング実習
中嶋 友美	訓練学
仁木 隆博	動物薬理学、動物感染症学
西川 文	動物歯科学
兵藤 陽子	英会話
林田 真琴	動物臨床看護学各論
福田 由吏	ビジネスマナー、コミュニケーショントレーニング
平野 孝昭	動物感染症学、動物病理学
前田 しのぶ	ペットアロママッサージ
増子 元美	幼齢動物看護学、高齢動物看護学、適正飼養指導論
片岡 玖美	訓練学
山中 彩紗子	訓練学
吉川 文香	動物内科看護学実習

(3) 学生在籍数（予定）

令和 7 年 4 月 1 日の学生在籍数（予定）

	令和 7 年度				令和 6 年度				増減	前年度比	摘要
動物看護学 科	1 年	2 年	3 年	計	1 年	2 年	3 年	計	16	113.4%	
	49	41	45	135	38	35	46	119			
動物管理学 科	1 年	2 年			1 年	2 年			△18	60.0%	看護学科志望の増加
	14	13		27	21	24		45			
計	162				164				△2	98.8%	

VI 教育内容及び教育運営

(1) 動物看護学科

- ① 愛玩動物看護師養成所（3 年制）として愛玩動物看護師養成に対応した教科構成と本学院独自のカリキュラムの運用
- ② 即戦力人材養成のための、一般教養とビジネスマナーの習得
- ③ 獣医療業界のニーズに即した実習授業（3 年次の動物病院実習の充実）の展開
- ④ 3 年次愛玩動物看護師国家試験対策の授業展開と調査研究
- ⑤ 動物関連業界へ理解を深めるためインターンシップの実施

(2) 動物管理学科

- ① 学生の希望に合わせた学習環境
- ② 管理コース、トリマーコースの特徴づける実習の充実

- ③ 動物園、愛護センターへの年間をととしての実習
- ④ 動物業界の動向を反映した教育の実施
- (3) 学院飼育動物
 - ① 学生が自ら担当する飼育動物をととして、動物の心と飼育技術を学ぶ
 - ② 「動物飼育実習」をはじめ医療技術等を学ぶ「動物臨床実習」等の授業を行う。
 - ③ 学院教育環境の中で、学生たちは、自然に生命の大切さを実感し、生命を守る責務を果たしながら、人と動物とのかかわりについて多くのことを学ぶ。
- (4) トリミング実習用モデル犬・家庭犬
 - ① 実践的かつ効果的なトリミング実習のためにブリーダー、協力家庭との連携を図りながら安定供給を図る。
- (5) 資格獲得の奨励と積極的な研修への参加
 - ① 愛玩動物看護師国家試験
 - ② ペットサービスグループ (PSG) (犬検定、保護譲渡指導員、救急救命)
 - ③ ペットサービスグループ (PSG) (トリマーライセンス B、C 級)
 - ④ 日本愛玩動物教会 (愛玩動物飼養管理士 1、2 級)
 - ⑤ 犬の食養生推進協会 (犬の心理栄養学)
 - ⑥ サーティファイ (コミュニケーション検定、Word・Excel 検定)

VII 就職指導体制

動物業界の動向と実態を調査し、就職先確保に努める。学生と就職先のマッチングを最優先する。

- (1) 就職指導
 - ① クラス担任と連携し、個々の学生にあった指導を行う。
 - ② 意識向上のために動物業界で活躍する講師を招いて特別講義を行い、職業観や就労観を育成
- (2) 求人先・研修先の確保
 - ① 500 以上のインターンシップ研修先の訪問実施し、研修先、求人先の確保
 - ② 早期就職活動意識向上のため「就職支援」等の授業で情報提供を行い支援する。

VIII 広報体制

- (1) 基本方針
 - ① 3 年制動物看護学科の積極的な広報展開
 - ② 熊本、鹿児島、福岡、長崎、佐賀に重点を置いた募集活動を展開
 - ③ 高校 1、2 年生の学校ガイダンスへの積極的な参加による勧誘
 - ④ WEB 媒体の活用 (学院 HP、FB 等、進学情報サイトによる情報発信)
 - ⑤ 広報職員の情報収集のスキル向上
 - ⑥ 九動通信の発行
- (2) 普及活動における広報計画
 - ① 進学説明会への積極的な参加
 - ② 高等学校訪問
- (3) オープンキャンパス、見学会、学校説明会の開催
 - ① 年 12 回オープンキャンパス開催
 - ② プレスクールの開催
 - ③ 入学前オリエンテーションの開催

④ 希望時に随時見学会の開催

⑤ 九州動物学院進学説明会の開催（6月18日予定、対象：高校の進路担当及び担任等）

IX 年間予定

- ・4月7日 第22期生入学式
- ・4月9～11日 オリエンテーション
- ・5月18日 第1回オープンキャンパス
- ・5月21日 レクレーション大会
- ・6月6日 校外学習
- ・6月15日 オープンキャンパス
- ・6月17日 高校進路担当者への九州動物学院進路説明会
- ・7月13日 オープンキャンパス
- ・7月27日 オープンキャンパス
- ・8月3日 オープンキャンパス
- ・8月6日～8月13日 前期試験（1、2、3年）
- ・8月13日 終業式
- ・8月18日 オープンキャンパス
- ・8月27日 オープンキャンパス
- ・9月19日 講師会議
- ・9月21日 オープンキャンパス
- ・10月1日 始業式
- ・10月13日 第1回出願～8日
- ・10月16日 オープンキャンパス
- ・10月16日 レクレーション大会
- ・10月18、19日 第1回選考
- ・10月28日～10月31日 1年生阿蘇合宿研修
- ・11月10日～11月15日 2年生海外研修
- ・11月4日～12日 第2回出願
- ・11月16日 オープンキャンパス
- ・11月22日～11月23日 第2回選考
- ・12月6日 学院祭準備
- ・12月7日 動物慰霊祭・学院祭
- ・12月22日 終業式
- ・1月5日 始業式
- ・1月14日～22日 第3回出願
- ・1月27日～2月3日 3年後期試験
- ・1月31日 第3回選考
- ・2月10～17日 1年後期試験
- ・2月12～17日 2学後期試験
- ・2月8日 入学前オリエンテーション
- ・2月22日 オープンキャンパス
- ・3月2日 進級判定・卒業判定会議
- ・3月9日 卒業式
- ・3月13日 講師会議
- ・3月15日 オープンキャンパス